

第32回医療公開講座ご報告

身体の負担が少ない早期がん治療 ～内視鏡でできる手術～

3月25日（火）に八軒会館にて、講師：金野陽高 医師（内視鏡副部長）による医療公開講を開催しました。

講師：金野陽高 医師
（内視鏡副部長）

内視鏡でできる手術は、がんが粘膜に深く到達していない段階の早期がんが対象となります。

胃で粘膜下層の500 μ mより深い病変や大腸では粘膜下層の1000 μ mより深い病変では、早期がんだったとしても、リンパ節転移の可能性があります、リンパ節を切除するのは内視鏡では困難となるので、外科治療が必要となります。

精密検査を行い、内視鏡治療の適否を決めます。

病変の形状、大きさ、身体の負担などにより適切な治療法（内視鏡治療、外科的治療）を決定していきます。

医療公開講座では・・・

医療公開講座には、講演後に医師への質問コーナーがあります。検査した方が良いのか？受診した方が良いのか？など、実際に病院へ行く前の不安や疑問を、医師に質問できます。



低侵襲な 内視鏡検査・治療には

※内視鏡を駆使した診断や治療は、身体への負担が少なく、眠っている間に診断や治療は終了します。

早期発見が重要

早期発見の為の検査や、早期がん治療について、お気軽に担当医にご相談下さい。



イムス札幌消化器中央総合病院

医療公開講座へのお問合せは、お気軽に地域医療連携室へ。TEL 011-555-2770